



<定点把握感染症>

疾患名	全国	山形県			山形市保健所			村山保健所			最上保健所			置賜保健所			庄内保健所			累積(県)
	第46週	第46週	第47週	増減	第46週	第47週	増減	第46週	第47週	増減	第46週	第47週	増減	第46週	第47週	増減	第46週	第47週	増減	
インフルエンザ定点 (定点医療機関数)		(45)			(9)			(10)			(4)			(9)			(13)			
インフルエンザ	23 0.00																			4164
小児科定点 (定点医療機関数)		(29)			(5)			(7)			(3)			(6)			(8)			
RSウイルス感染症	325 0.10	1 0.03		▽										1 0.17		▽				133
咽頭結膜熱	657 0.21	7 0.24	9 0.31	△	1 0.20	△	1 0.14	3 0.43	△	1 0.33		▽	4 0.67	4 0.67		1 0.13	1 0.13		538	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2275 0.72	25 0.86	37 1.28	▲	4 0.80	10 2.00	▲	4 0.57	8 1.14	▲				16 2.67	19 3.17	△	1 0.13		▽	3405
感染性胃腸炎	6567 2.08	248 8.55	276 9.52	▲	17 3.40	35 7.00	△	37 5.29	59 8.43	△	1 0.33	5 1.67	△	13 2.17	47 7.83	▲	180 22.50	130 16.25	▽	3974
水痘	637 0.20	3 0.10	5 0.17	△	1 0.20	1 0.20		1 0.14	2 0.29	△				1 0.17		△	1 0.13		▽	345
手足口病	326 0.10		1 0.03	△										1 0.17		△				99
伝染性紅斑	44 0.01																			236
突発性発しん	1315 0.42	17 0.59	15 0.52	▼	4 0.80	3 0.60	▼		1 0.14	△	1 0.33	1 0.33		7 1.17	6 1.00	▼	5 0.63	4 0.50	▼	753
ヘルパンギーナ	493 0.16	38 1.31	31 1.07	▼	1 0.20	3 0.60	△	3 0.43	5 0.71	▲	1 0.33	2 0.67	△	17 2.83	12 2.00	▼	16 2.00	9 1.13	▽	776
流行性耳下腺炎	150 0.05	2 0.07	2 0.07					1 0.14	1 0.14						1 0.17	△	1 0.13		▽	39
眼科定点 (定点医療機関数)		(8)			(1)			(3)			(1)			(1)			(2)			
急性出血性結膜炎	2 0.00																			1
流行性角結膜炎	171 0.25	6 0.75		▽	1 1.00		▼	5 1.67		▽										70
基幹定点 (定点医療機関数)		(10)			(2)			(2)			(1)			(2)			(3)			
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1 0.00																			1
クラミジア肺炎	1 1.00																			1
マイコプラズマ肺炎	32 0.07	1 0.10		▽	1 0.50		▽													31
細菌性髄膜炎	5 0.01																			6
無菌性髄膜炎	8 0.02																			0

◎ : 警報レベル ○ : 注意報レベル

<全数把握感染症>

疾患名	報告数					備考
	山形市	村山	最上	置賜	庄内	
結核	1			2		※内、第46週追加報告1人。
カルバペナム耐性腸内細菌感染症					1	※第45週追加報告分。90日以内の海外渡航歴:無し。

<通信欄>

※新型コロナウイルス感染症情報について

新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システムの運用開始に伴い、新型コロナウイルス感染症は週報の対象外となりました。
山形県の新型コロナウイルス感染症に関する情報は、右記の「新型コロナウイルス感染症に関連するポータルサイト」をご覧ください。(QRコードを読みとるかPDFファイル上でクリックしてアクセスしてください。)



※警報・注意報の基準値

疾患名	警報レベル		注意報レベル
	開始	終息	
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	2	1	1
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

※定点把握感染症のグラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。
※ウイルス分離・検出状況については、衛生研究所のHPをご覧ください。

※表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数
※定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

< 定点把握感染症 報告患者数 年齢別 >

インフルエンザ定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	合計
インフルエンザ	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～									0
小児科定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～	合計
RSウイルス感染症															0
咽頭結膜熱			7					2							9
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎				2	1	1	1	2	8	4	6	8	3	1	37
感染性胃腸炎		13	38	25	43	28	32	28	12	8	10	32	1	6	276
水痘		1	1	1			1				1				5
手足口病				1											1
伝染性紅斑															0
突発性発しん		2	12		1										15
ヘルパンギーナ		3	12	8	4		2				1				31
流行性耳下腺炎					1							1			2

< 令和2年10月 月報 >

2020年11月25日 発行

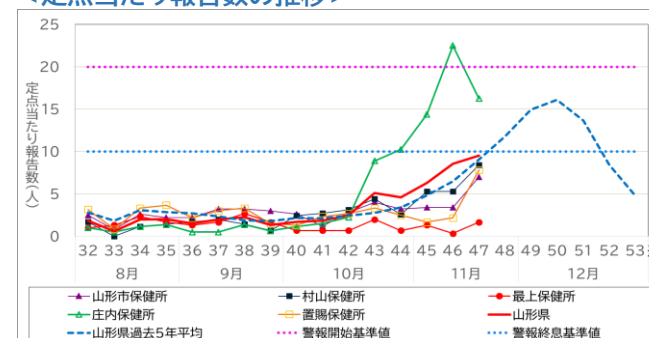
疾患名		山形県		山形市保健所		村山保健所		最上保健所		置賜保健所		庄内保健所		累積(県)
		9月	10月	9月	10月	9月	10月	9月	10月	9月	10月	9月	10月	
STD定点	(定点医療機関数)	(10)		(3)		(1)		(1)		(2)		(3)		
性器クラミジア感染症	報告数	13	14	4	7	2			3		1	7	3	149
	定点当り	1.30	1.40	1.33	2.33	2.00			3.00		0.50	2.33	1.00	
性器ヘルペスウイルス感染症	報告数	7	7	4		1			1	1	5	1	1	63
	定点当り	0.70	0.70	1.33		1.00			1.00	0.50	2.50	0.33	0.33	
尖圭コンジローマ	報告数	2	1	1		1							1	14
	定点当り	0.20	0.10	0.33		1.00							0.33	
淋菌感染症	報告数	3	2	2	1							1	1	26
	定点当り	0.30	0.20	0.67	0.33							0.33	0.33	
基幹定点	(定点医療機関数)	(10)		(2)		(2)		(1)		(2)		(3)		
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告数	4	5	1					1			3	4	45
	定点当り	0.40	0.50	0.50					1.00			1.00	1.33	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告数	16	21	2	5	6	2			1	1	7	13	187
	定点当り	1.60	2.10	1.00	2.50	3.00	1.00			0.50	0.50	2.33	4.33	
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告数													2
	定点当り													

<トピックス>

感染性胃腸炎 情報

感染性胃腸炎の定点当たり報告数が、庄内保健所管内で2週連続警報レベルとなっています。

< 定点当たり報告数の推移 >



< 感染性胃腸炎とは >

感染性胃腸炎は、細菌やウイルスに感染することによっておこります。秋から冬にかけて、ウイルスによる感染性胃腸炎が増加する傾向があります。症状は原因となる病原体によって異なりますが、おう吐、下痢、発熱などがあり、感染しても症状が現れない人や軽い風邪のような症状で済む人もいます。



< 感染経路 >

主な感染性胃腸炎の原因病原体の一つにノロウイルスがあります。ノロウイルスの感染経路のほとんどが経口感染で、感染している人の便に含まれるウイルスが、人の手や食品などを通して口に入ったり、加熱不十分な二枚貝を食べることによって感染します。他に、吐物や下痢などが飛び散った飛沫を吸い込んだことによる飛沫感染などがあります。

< 予防法 >

感染予防のために、石鹸を使って流水で手洗いをするのが重要です。アルコール消毒だけでは不十分ですので注意しましょう。感染した人の吐物や便には、大量のウイルスが含まれていますので、十分に注意して取り扱しましょう。(具体的な方法については、厚生労働省ホームページ「ノロウイルスに関するQ&A」でご覧になることができます。QRコードを読み取るかクリックしてアクセスしていただけます。)

